

テジロハリゲコモリグモ *Pardosa yamanoi* Tanaka et Suwa

【選定理由】

県内では、もともと採集・観察例の少ない種（希産種）である。湿地のクモで、生息地は数ヶ所と限られている。近年、湿地の開発等に伴い激減している。

【形態】

体長 5~7mm。雄の背甲・腹部は濃茶褐色で、眼域から腹部後方にかけて乳白色の縦斑がある。第 1 脚の全節に多数に白毛を生じる。雌は第 1 脚の白毛を欠き茶褐色。背甲・腹部は茶褐色で、眼域から腹部後方にかけて淡褐色色の縦斑があり、腹部上面に白斑がある (H.Tanaka & M. Suwa, 1986)。



新城市(旧作手村)長ノ山湿原, 2008年5月25日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

名古屋市、豊川市、岡崎市、新城市（旧鳳来町・旧作手村）に分布する。

国内では、本州、四国、九州に分布する（新海ほか, 2018）。

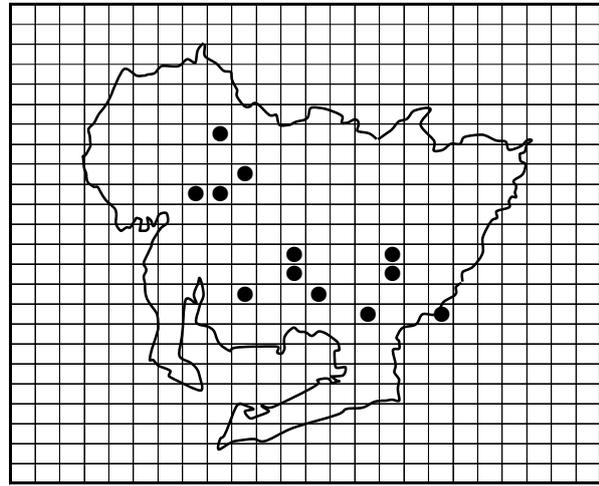
【生息地の環境／生態的特性】

湿原に生息し地表を徘徊する。初夏に成体になり、雌は卵嚢を糸器に付けて徘徊する。

【現在の生息状況／減少の要因】

2008年6月に調査した名古屋市天白区（天白溪湿地）では、湿地の消滅と同時に絶滅したと思われる。現在、新城市（旧作手村）長ノ山湿原は貴重な生息地のひとつである。

県内分布図



【保全上の留意点】

湿原の埋め立てや開発は極力避けるべきである。

【引用文献】

H. Tanaka & M. suwa, 1986. Descriptions of Tereee New Spiders of the Pardosa Laura Complex (Araneae:Lycosidae) Based on Their Morphology and Ecology, *Acta arachnol.*, 34: 49-60.

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.164. 文一総合出版, 東京.

小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, p.241. 東海大学出版会, 神奈川.

小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.337,558-560. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)